

病院沿革

大崎市病院事業は大崎市民病院のほか、鳴子温泉分院、岩出山分院、鹿島台分院、田尻診療所、健康管理センターの3分院、2診療所があり、大崎市民病院は高度急性期医療を担い、分院・診療所は地域のかかりつけ医として、病院全体で地域完結型医療を目指している。

その中で、大崎市民病院は、昭和13年12月古川町を中心とする20数か町村の産業組合出資による大崎久美愛病院として開院し、昭和32年度に古川市立病院、平成18年に市町村合併により大崎市民病院となり、県北の基幹病院として急性期医療、高度医療等を担ってきた。

大崎市古川千手寺町の建物は、築後40年以上が経過し、老朽化・狭隘化していたことから、平成26年6月に大崎市古川穂波地区へ新築移転した。沿革概略は以下のとおり。

昭和12年	6月	大崎医療購買利用組合連合会設立許可
昭和12年	11月	病院開設許可
昭和13年	12月	大崎久美愛病院発足 県下初の古川町を中心とする20数か町村の産業組合出資により「大崎医療利用組合連合会」を設立
昭和17年	6月	大崎久美愛病院附属伝染病組合開設。(28床)
	12月	宮城県信用販売利用組合連合会に吸収合併
昭和19年	4月	団体総合により宮城県農業会に移行
昭和23年	8月	宮城県農業会解散により宮城県厚生農業協同組合連合会に移行
昭和32年	6月	名称を「古川市立病院」に改称 病床数218床(一般140床、結核60床、伝病18床) 基準給食実施
昭和32年	9月	基準看護実施
昭和34年	10月	診療科目に小児科を追加
昭和35年	5月	診療科目に整形外科を追加
	7月	看護婦寄宿舎建設、鉄筋コンクリート造 2階及び3階
昭和36年	4月	地方公営企業法全部適用
	10月	古川市外12ヵ町村伝染病院組合設立による伝病棟完成 伝病50床増床 計268床
昭和38年	2月	許可病床数変更 398床に増床(一般270床、結核78床、伝病50床)
昭和39年	9月	基準寝具実施

- 昭和 40 年 10 月 病院全面増改築工事設計に着手
- 昭和 42 年 5 月 病院建設第一期竣工（本館及びサービス棟）
許可病床数 352 床に再編成（一般 302 床，伝病 50 床）
- 6 月 診療科目に歯科を追加
- 昭和 43 年 3 月 診療科目に泌尿器科を追加
- 昭和 43 年 8 月 本館及びサービス棟全面竣工（総工費 550,000 千円）
- 昭和 44 年 3 月 病院開設の附属准看護学校を宮城県古川女子高等学校衛生看護科の設置に伴い廃校
- 昭和 45 年 2 月 救急告示病院指定
- 昭和 46 年 8 月 診療科目に眼科を追加
- 12 月 総合病院承認
- 昭和 47 年 2 月 人工腎臓透析診療開始
- 5 月 診療科目に皮膚科を追加
- 昭和 48 年 3 月 許可病床一部変更 352 床（一般 282 床，結核 20 床，伝病 50 床）
- 昭和 49 年 11 月 基準看護特一類に昇格許可
- 昭和 50 年 10 月 人工腎臓透析センター並びに看護婦厚生施設棟竣工
- 昭和 52 年 7 月 基準看護特二類に昇格許可
- 昭和 55 年 10 月 CT 棟増築
- 昭和 58 年 8 月 許可病床一部変更 352 床（一般 308 床，結核 24 床，伝病 20 床）
- 昭和 60 年 12 月 第 2 駐車場整備（100 台）
- 昭和 61 年 4 月 下水道布設替
- 10 月 防災施設の設置（スプリンクラー）
- 12 月 人工腎臓透析センター増築
- 平成 5 年 1 月 許可病床数変更 救急医療センター 27 床増床（うち 6 床医療法施行規則第 30 条の 32）
許可病床数 379 床（一般 335 床，結核 24 床，伝病 20 床）
救急医療センター建設工事着工，鉄筋コンクリート造 地下 1 階地上 4 階建
特定集中治療室 10 床（ICU 6 床，CCU 4 床）
救急専用病床 17 床（HCU 17 床）
一般病床 50 床，地域医療研修室他
- 平成 6 年 4 月 診療科目に麻酔科，脳神経外科を追加
- 6 月 看護婦宿舎施設工事着工，鉄筋コンクリート造 3 階建
延床面積 666.0 m²，戸数 24 戸
- 7 月 救急医療センター竣工（総工費 4,260,000 千円）
結核基本一類昇格

- 9月 基準看護特三類承認（救急病床 27 床）
救命救急入院料及び特定集中治療室管理料算定病床の承認
（特定集中治療室 10 床）
- 平成 7 年 3月 看護婦宿舎施設竣工（総工費 192,739 千円）
6月 新看護・A 加算届出（一般 335 床，結核 24 床）
11月 第四次病院事業経営健全化団体指定
- 平成 9 年 3月 災害拠点病院（地域災害医療センター）認定
7月 第 4 次病院事業経営健全化の完了通知受理（指定団体の解除）
新看護変更に係る届出（新看護 2.5:1，A 加算，看護補助 10:1）
- 平成 10 年 1月 リハビリ棟建設工事着工，鉄骨造 1 階建
4月 リハビリ棟竣工（総工費 123,900 千円）
6月 脳死に係る臓器提供病院の認定（厚生省）
8月 新看護に係る届出（新看護 2:1）
- 平成 11 年 4月 第 2 種感染症指定医療機関（6 床）
5月 アジア太平洋公衆衛生学会議古川会議（参加国 7）開催
6月 国内 3 例目の臓器提供施設
診療科目に形成外科を追加
10月 歯科から歯科口腔外科に標榜変更
許可病床数変更 415 床（一般 385 床，結核 24 床，感染 6 床）
放射線棟建設工事着工
鉄筋コンクリート造 2 階建 延床面積 545.96 m²
11月 許可病床数変更 425 床（一般 395 床，結核 24 床，感染 6 床）
※実働病床数 375 床（一般 345 床，結核 24 床，感染 6 床）
- 平成 12 年 1月 南病棟建設工事着工
鉄筋コンクリート造 地下 1 階，地上 5 階建 延床面積 7,117.05 m²
病床数 146 床
屋上ヘリポート，災害用備蓄倉庫，
リハビリテーションセンター，健診センター 他
3月 放射性同位元素等使用許可（科学技術庁）（放射線発生装置）
放射線棟竣工（総工費 909,800 千円）
臨床研修病院指定（病院群）
4月 診療科目に精神科・放射線科を追加
放射線棟施設検査合格（原子力安全技術センター）
日本内科学会教育病院認定
放射線棟使用許可
シンシナティ大学救急部との国際交流事業の開始

- 8月 許可病床数変更 435 床 (一般 405 床, 結核 24 床, 感染 6 床)
※実働病床数 375 床 (一般床 345 床, 結核床 24 床, 感染 6 床)
- 平成 13 年 10月 宮城県救急医療研究会第 2 回学術集会
- 4月 診療科目に循環器科・消化器科を追加
- 5月 福利厚生棟竣工・使用許可
検査棟竣工・使用許可
自走式立体駐車場竣工 3 層 4 段 (収容台数 120 台)
南病棟竣工
総工費 4,534,450 千円 (建物 3,287,080 千円 機械備品 918,870 千円
その他 328,500 千円)
- 6月 許可病床数変更 452 床 (一般 422 床, 結核 24 床, 感染 6 床)
※実働病床数 375 床 (一般 345 床, 結核 24 床, 感染 6 床)
- 7月 実稼働病床数 452 床 (一般 422 床, 結核 24 床, 感染 6 床)
南病棟開所式
東北医学会特別講演会
- 10月 診療科目にリハビリテーション科を追加
- 11月 第一種助産施設認可
- 平成 14 年 1月 日本救急医学会認定医指定施設認定
日本乳癌学会研修施設認定
患者用福利厚生施設「オアシス」竣工
- 10月 病院使用許可申請届 (言語療法室)
- 平成 15 年 1月 研修棟新築工事着工 鉄骨造 2 階建 延床面積 787.47 m²
第四次医療法改正の施行に伴う病床区分の届出 (一般 422 床, 結核 24 床,
感染 6 床)
日本外科学会外科専門医制度修練施設認定
- 2月 日本病理学会登録施設認定
- 3月 救急医療機関申出事項変更届出 (告示番号 1326 号)
病院使用許可申請届 (南 4 階病棟 4 病室病床数変更)
許可病床数変更 救命救急センター 3 床増床 (医療法施行規則第 30 条の
33)
許可病床数 455 床 (一般 425 床, 結核 24 床, 感染 6 床)
※実働病床数 452 床 (一般 422 床, 結核 24 床, 感染 6 床)
- 5月 院内保育所の開所
- 6月 研修棟竣工 (総工費 119,218 千円)
- 7月 日本医療機能評価機構 Ver.3.0 認定
- 8月 各病室病床数変更→南病棟 23 床運用開始

			地域がん診療拠点病院指定
	12月		救命救急センターICU室工事着工（3床増床）
平成16年	3月		地域周産期母子医療センターの認定
			救命救急センターICU室竣工（3床増床）
	4月		義務化に伴う臨床研修指定病院の認定
平成17年	1月		無菌病室の病床に係る増床（医療法施行規則第30条の33）
			許可病床数変更 3床増床 許可病床数458床（一般428床、結核24床、感染6床）
	2月		感染管理室着工 プレハブ造1階建
	3月		感染管理室竣工（総工費11,550,000円）
	7月		薬局内注射調剤室の整備
	10月		医療情報支援センター会議棟増築
平成18年	2月		医療情報支援センター会議棟竣工
			市町村合併に伴う書類事前提出
	3月		大崎地方1市6町合併により「大崎市」誕生（3月31日）
			併せて病院名も「大崎市民病院」となる
			大崎市民病院（本院）
			許可病床数458床（一般428床、結核24床、感染6床）
			大崎市民病院鳴子温泉分院
			許可病床数170床（一般50床、療養120床）
			大崎市民病院岩出山分院
			許可病床数95床（一般65床、療養30床）
			大崎市民病院鹿島台分院
			許可病床数70床（一般40床、療養30床）
			大崎市民病院田尻診療所
			市町村合併に伴う各種指定申請（廃止）届
			生活保護指定医療機関指定申請（廃止）・結核指定医療機関指定申請（廃止）
			被爆者一般疾病医療機関指定申請（辞退）・救急医療機関申出事項変更・指定養育医療機関申請事項変更・児童福祉施設設置届出事項変更・更生医療指定医療機関変更
			感染症指定医療機関同意（廃止）・地域がん診療拠点病院申出事項変更
			地域周産期母子医療センター申出事項変更
平成18年	7月		大崎市民病院登録医制度開始
平成18年	8月		心臓カテーテル室改築
平成20年	4月		DPC対象病院

- 7月 許可病床変更（一般病床 452 床・結核病床 8 床^{※新病院建設時整備}・感染症病床 6 床 計 466 床）
- 9月 MRI 増設
- 平成 21 年 9月 発熱外来待合室整備
許可病床数変更（各病室の病床数の変更）
- 10月 介護保険法第 115 条の 32 第 2 項（整備）又は第 4 項（区分の変更）に基づく業務管理体制に係る届出
- 11月 ベーカリーショップ整備
- 12月 健診センターラウンジ，臨床研修管理部，病院建設整備局，ME 室整備
- 平成 22 年 10月 許可病床数変更（一般病床 442 床・結核病床 8 床・感染症病床 6 床 計 456 床）
- 平成 23 年 4月 40 診療科に変更
- 5月 電子カルテシステム導入
- 平成 24 年 3月 新本院建設工事着工
鉄筋コンクリート造 地下 1 階，地上 9 階建 延床面積 48.390.07 m²
- 平成 24 年 5月 入退院センター設置
- 7月 地域医療支援病院承認
血管造影エックス線診断装置，エックス線骨密度測定装置設置
障害者自立支援法第 60 条第 1 項の規程による指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）指定更新
- 平成 25 年 3月 外来化学療法室設置（12 床）
障害者自立支援法第 60 条第 1 項の規定による指定自立支援医療機関（精神通院医療）指定更新
- 9月 第 15 回宮城県救急医療研究会学術集会
平成 25 年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰
- 12月 放射性同位元素（放射線発生装置）使用許可（環境省原子力規制委員会）
- 平成 26 年 3月 大崎市民病院本院竣工（総事業費 23,208,068 千円）
- 5月 宮城県北先制医療学講座（東北大学大学院医学系研究科）協定締結
- 6月 大崎市民病院開院（新築移転：平成 26 年 6 月 28 日 大崎市古川穂波三丁目 8 番 1 号）
ハイブリット手術室，バイオクリーン手術室整備
PET-CT，リニアック（IMRT 可）の導入
患者サポートセンター（PFM）設置
外来化学療法室 24 床設置
平成 26 年度自治体立優良病院会長表彰
大崎市民病院健康管理センター開設

- 7月 大崎市民病院（新本院）外来診療開始（平成26年7月1日）
NICU増床（6床）
- 8月 指定自立支援医療機関（更正医療）の指定申請（心臓脈管外科に関する医療）
- 12月 指定自立支援医療機関（育成医療・更正医療）の主たる担当医師変更申請（腎臓に関する医療）
- 平成27年 10月 許可病床数変更（一般病床486床・結核病床8床・感染症病床6床 計500床 ※稼働病床数476床）
診療科目に小児外科を追加
- 平成28年 4月 DPCⅡ群病院
稼働病床数変更（485床）
熊本地震災害によるDMA T派遣
- 10月 特定集中治療病棟 SICU 開設
稼働病床数変更（487床）
- 平成29年 3月 日本医療機能評価機構機能種別版項目 3rdG : Ver. 1.1（認定第JC2159）認定
- 平成30年 2月 結核病床廃止（一般病床494床，感染症病床6床 計500床）
- 4月 DPC 特定病院群
小児科連携医（こどもサポート医）制度開始
- 7月 へき地医療拠点病院指定
- 10月 神経内科から脳神経内科に標榜変更
- 11月 宇和島市病院事業（愛媛県）と姉妹協定締結
- 12月 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関指定
- 平成31年 1月 IS015189（臨床検査部門）認定（基幹・非基幹）
- 3月 PET/CT装置の更新
- 令和元年 6月 新生児治療回復室（GCU 6床）設置
稼働病床数変更（500床）
- 10月 指定障害福祉サービス事業者（短期入所）指定
令和元年東日本台風災害によるDMA T派遣（丸森町）
- 令和2年 4月 放射化物を保管廃棄する保管廃棄設備設置
アカデミックセンター設置
- 11月 患者用駐車場に新型コロナウイルス感染症に係る検査等のための陰圧機能付き医療用テント設置
- 12月 児童福祉法に基づく指定小児慢性特定疾病医療機関の指定更新
難病の患者に対する医療等に関する法律に基づく指定医療機関の指定更新

- 令和 3 年 1 月 東北自動車道多重事故発生によるDMA T 派遣
 2 月 診療用エックス線装置の更新
 10 月 新型コロナウイルス感染症に係る検査等のための陰圧機能付き医療用テントをプレハブに建替
- 令和 4 年 3 月 災害時使用を目的とした救急車の配備(大崎地域広域行政事務組合消防本部より譲渡)
 4 月 地域がん診療連携拠点病院(高度型)指定
 6 月 手術支援ロボット導入
 7 月 公立病院経営強化プラン策定に係る大崎圏域 1 市 4 町首長・公立病院長会議の実施
 8 月 経カテーテル大動脈弁留置術「TAVI」導入・初症例
 9 月 大崎地域公立病院経営強化プラン策定調整会議の設置及び第 1 回会議の実施
 [構成員] 大崎市長, 色麻町長, 加美町長, 涌谷町長, 美里町長, 大崎市病院事業管理者, 大崎市民病院長, 公立加美病院長, 涌谷町町民医療福祉センター長, 涌谷町国民健康保険病院長, 美里町立南郷病院長
 [オブザーバー] 東北大学病院総合地域医療教育支援部教授, 大崎市医師会長, 加美郡医師会長, 遠田郡医師会長, 栗原市病院事業管理者, 宮城県保健福祉部, 宮城県総務部市町村課, 宮城県北部保健福祉事務所, 総務省地方公共団体経営・財務マネジメント強化事業(アドバイザー)
 10 月 分院の一般病床のすべてを地域包括ケア病床へ転換(120 床)
 11 月 日本医療機能評価機構機能種別版項目 3rdG : Ver. 2.0 更新審査受審
- 令和 5 年 1 月 手術支援ロボットにて, 「消化器外科」「泌尿器科」「呼吸器外科」初症例実施
 2 月 ISO15189(臨床検査部門)認定更新(基幹・非基幹・病理学的検査(新規), 生理学的検査(新規))
 3 月 電子マネー(キャッシュレス)決裁の導入
 4 月 TQM センター設置
 5 月 日本医療機能評価機構機能種別版項目 3rdG : Ver. 2.0 認定
 6 月 自治体立優良病院総務大臣表彰 受賞
 10 月 大崎地域 1 市 4 町で連携協約 締結
- 令和 6 年 1 月 石川県能登半島地震による DMAT・災害支援ナース派遣(石川県)
 3 月 大崎市民病院経営強化プランの策定